

IV. 令和3年度後期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

授業科目名 (英文表記)	経済社会トレンド (Economic and Social Trends)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	阿部 秀二郎		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 10月2日(土) 13:00~17:00	第3回 11月6日(土) 13:00~17:00	
	第2回 10月23日(土) 13:00~17:00		
【授業のねらい・概要】			
<p>この授業科目は、複雑化している現代社会において、経済社会に大きな影響を及ぼしている諸現象について俯瞰し、それらの諸現象が経済社会にどのような影響を及ぼしているのかについて具体的に解説を行います。</p> <p>経済学研究科で研究するプログラムは、諸現象が経済社会に影響を及ぼす複数の課題から、社会的ニーズが存在しかつ経済学研究科の研究者が研究することができる課題について、研究・学修するものです。</p> <p>履修者は、授業を通してDP1①、DP2②、DP3①、DP4①を満たすことを目的とします。</p>			
【授業計画】			
<p>第1回① ガイダンス、科目のカリキュラム上の位置づけの説明・授業方法の説明・成績評価方法の説明など トレンド1 経済力の変化の説明・議論</p> <p>第1回② トレンド2 人口動態の変化(需要・供給)</p> <p>第2回① 前回の復習 トレンド3 都市化・地域間格差</p> <p>第2回② トレンド4 技術革新の影響</p> <p>第3回① 前回の復習 トレンド5 気候変動・資源問題</p> <p>第3回② 履修生が考えるトレンド まとめ、レポート指示</p>			
【到達目標】			
<p>履修することで、次のことができることが目標です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の経済社会の根底を動かしているトレンドの存在について説明することができる。 ・そのトレンドがどのような影響を与えるのかについて、議論することができる。 ・今後生じるであろうトレンドについて、想像し、それに対してどのような対応が可能であるのかについて、議論することができる。 			
【成績評価の方法】			
授業に入る前の学修(10%)、授業での議論(40%)、レポート(50%)			
【教科書】			
特にありません			
【参考書・参考文献】			
授業中に適宜紹介しますが、比較的新しい情報にアクセスすることになると思います。			
【履修上の注意・メッセージ】			
この授業は、その構成において議論を行う時間を予定しています。積極的な質疑応答を望みます。			
【履修をする上で必要な事項】			
南紀熊野サテライトでは対面で、それ以外の地域から参加する場合には同時配信で授業を行います。同時配信を受信する方法として、パソコンとTeamsさらにZoomのアプリをダウンロードしておいてください。さらに質疑応答する場合に、ハウリングが生じないようにイヤホンをご準備ください。			
【授業時間外学修についての指示】			
<p>授業の前に、見ておいてほしい資料等を提示しておきます。それに基づき説明と議論を行うこととなります。さらに、授業終了後には議論から得た知見や刺激に基づき感想(または各人の調査結果)をまとめてもらいます。これらをMoodleで用意します。授業の最後には授業全体を振り返り、レポートを作成してもらいます。これらへの対応のために相当程度の時間が必要となります。</p> <p>※基本的には対面での実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			